しっかり 頑張って下さい
就職者壮行会開かる

九ケ年の義務教育も修了すると、生徒は進学や職場にとそれぞれ道を求めるが、今年光中学校を卒業した二百七十四名の生徒のうち、働く事が大好きな男女八十五名の就職者を激励する壮行会が三月五日光中体育館で開催された。

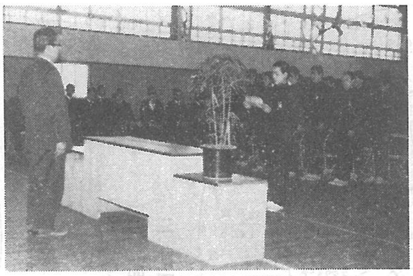
町の主催によりはじめて開かれるこの式には、銚子公共職業安定所長、管内小学校長や町会議員等々多数の来賓者の参列を得て執り行われた。会場には若者のみの持っている力と意気がただよい、参列者も頼もしいその姿と態度に引きつけられた様であった。

まず町と職業安定所からの記念品が贈られた後、町長は「たとえ遠く町を離れても、両親や恩師への恩と今日まできた光町を忘れず、いつまでも健康であってほしい。又高校へ進学はしなくとも、決してひがむ事なく職業人としてのプライドをもち、正々堂々と歩んでほしい。」と激励した。

引き続き数々の励ましの言葉の後就職者を代表し秋葉静雄君がしっかりした口調で「東京オリンピックが開かれた良き年に、町で私達の壮行会を開いていただきありがとうございました。第二次大戦が終って世界中に平和の陽が輝きはじめた昭和二十四、五年生れの私達は、幸福な学校生活を営んできた。今、義務教育を修了しようとしているが、色々と御指導下さった先生方、町の方々や先輩の方々など良き思い出でいっぱいです。

三年生に進級しては進学希望者も、就職希望者もお互いに励し合い勉強してきたが、学問とは現在の自分をかえりみてそれ以上に人格を高め、社会全体のためにつくして世の中を明かるくしていく事だと思い努力してきたが、高校進学者も、単なる形式的だけで進学することであってはならず、父兄の方も子供の進むべき道を誤り、一流高校へ進学させるなど束縛した意見をしている方があれば反省してみる必要がある。

卒業後は高校進学者以上に人格を高め、社会学問を身につけ町の方々及び先生方の教えを身に体し、立派な社会人となる様努力する。」と心がまえをのべ、式は終了した。



<代表者のちかいの言葉>

日本消防協会より
＝消防団幹部受賞＝

去る三月十二日第十六回千葉県消防大会が千葉市内消防車の路上行進に引続き県庁十階大講堂に於いて県下消防関係者多数出席のもとに盛大裡に挙行され。大会表彰式の席上に於いて当町消防団幹部役員が。日本消防協会より次のとおり表彰されました。

功績章　団長　信田市郎左衛門

精績章　副団長　平山静雄

ニワトリを導入した農業経営で県の特別賞

小川台　林　勝君

林君は二十九才の青年で、かっては町の青年団長も勤めた若い町の指導者である。

田畑二町歩余りの耕作者で町としては上位に属する農業経営をなしすぐれた農業収入を上げているが時勢にのった好調な他産業にまけない様な農業収入を目指して昭和三十六年に部落の同志九人と語らい養鶏を農業経営の一部に取りいれ一、〇〇〇羽養鶏を目標として精進している。

先般県連合農業研究会主催の県下の各種農業の体験発表会で、その研究発表は県特別賞の栄誉を得られた。

畜産物の価格不安定は畜産農家の最も痛感する事であり殊に昨年の年間を通じての卵価安は養鶏農家にとっての打撃は最も大きかった。

林君は、これを打開すべく①駄鶏陶伏の徹底 ②育成率の向上 ③飼料は自家配合とする ④簿記の完全記帳等を研究し即実行に移し、町の養鶏家のため若い情熱をかたむけ研究に精進している。

光町養豚組合連合会結成なる

長い間の懸案であった養豚組合連合会が、去る三月一日結成され、初代会長には信田市郎左衛門氏、副会長には大木忠氏が、又各地区に理事三名と監事一名がそれぞれ選任されました。更に連合会の下に各農協を中心とした地区養豚組合を設置し、この組織構成によって養豚振興の基本態勢が整備されました。

従来農家の場合は団結の力が欠けていたが、以後は種豚の改良と、成豚・仔豚の販売、飼料の購入等に、農協を中心とする一貫した団結力を強化してこそ、将来性のある明るい養豚経営が生れ、農業振興につながることと思われます。

町が農業構造改善事業の主幹作目の一つに養豚をとり入れたが、養豚家の結束が強化されたことは、その施策を実施するためにも又、町の産業発展にも大きく貢献されることを期待されます。町も昭和四十、四十一年の、両年度の継続事業として、と場の大改修を行うための事業費も当初予算に計上し、計画中であります。

今までは県下一を誇るこのと場も、農家との直接の結び付きは少なかったが、この組合の結成を契機として、と場えの関心と利用度が一層高まるものと予想され、昨年苦盃をなめた豚コレラの防除等の諸事業も、養豚組合を中心に推進すれば町の養豚経営は一段と進歩するものと確信いたします。

栄養改善モデル地区に木戸と関が指定

木戸と関部落が、厚生省と県から「栄養改善モデル地区」の指定をうけ活動を始めました。

二月一九日、地元を訪れた県予防課や保健所の係が区長さんやお姑さん、若いお嫁さんと膝をまじえて話し合いを行いました。この席でこの事業の推進力となる「ホームリーダー」の委しょくも行われ、農漁村の人々の体位向上を目ざす活やくが開始されています。

この事業は両部落で行われている八つのおこ安講を利用し、ふだんの食事の栄養が不足していないか、どんな料理で充分な栄養がとれるかなど調査をしたり話し合いをして研究をつづけることになっています。

ホームリーダーとして働いている方は次の十三人です。木戸＝大木よね、山辺富美子、椎名和子、畔蒜松枝、林恵子、大木かね、関＝小川美代子、渡辺せい子、渡辺すみ、実川たみ、大木はる、高橋きん、清宮一子、（敬称を省きます）

豚コレラの追放!!
第一次予防注射の実施

昨年九月県下一円に発生した、豚コレラは当町の一部にも侵入し、遂に豚の移動禁止区域に指定されたことは記憶に新しいことですが、幸い飼養家皆さんの、防疫予防対策に対する深い関心と協力により、被害も予想以上に僅少に喰ひとめることができました。

恐るべき豚コレラを絶対に寄せつけない方法は、予防注射を完全に実施することと、住みよい環境をつくる畜舎の清掃が先決であることを忘れてはなりません。新年度に入るに当り町は第一次計画として四月より豚コレラ予防注射を実施いたします。豚疫の完全追放と養豚経営の安全保持めため、必ず予防注射を受けられるよう特にお奨めいたします。

青少年育成会はこうしてつくりましょう

青少年を健全に育成し、地域のすべての青少年をすく〳〵とのばすことは、非常に大切な問題です。それには部落活動から出発し、地域ぐるみの運動としてひろげていかなければ効果はありません。

育成会の組織は、青少年の生活の場である部落、町内会単位につくり、おとなが会員となります。

世話役には次のような人が考えられます。部落町内会の代表、青少年相談員、PTA代表、児童委員、保護司、婦人代表、教師、保健婦などです。運営は、会員全部が平等の立場でみんなの意見を反映しながら、一部の人の集団にならないよう心がけ、青少年とおとなの人間関係をより強く結びつけるようつとめましょう。光町青少年相談員の方々は今、地域の育成会つくりにつくされていますので、部落の子どもは部落の責任で育てる運動にご協力をおねがいいたします。

汚物処理について ご協力を……

みなさん、町を明るく住みよくするため次の事項にご協力ください。

一、公共の場所、他人の所有地へ絶対に「ごみ」等を捨てないでください。

二、自家処理の場合は、焼き捨てるなりして、ちらかさないよう処理しましょう。なお民生課では、ごみ処理の新規申し込みを受付ております。

又、いままで利用いただいた方は、四月より納額告知書により収入役室へ納付してください。

新学期を迎えた皆さんに

光町校長会長　宇井貞文

桜のつぼみ、木々の若葉、野に山に春のけはいがみなぎり、人々の心を湧きたたせます。

新しい希望、みなぎる喜び清潔な服装で門出する皆様の晴れ姿が想像されます。小、中共に新入生の諸君は特に感激ひとしおなものがあることでしょう。

それぞれ第一歩は将来を含み最も大切な意義深き第一歩です。皆様のお父さん、お母さんそして社会の人々も大いに前途を期待し、そのために深い祈りと祝福を捧げているのです。

新年度の出発です。学校も計画や準備に一生懸命です。さて新学期を迎えてどんな心がまえが必要でしょうか、思いつくままに書いてみます。

一、気持ち良く元気で学校に通うことです。ために家庭生活をどうするか、友だちとどうするか。健康へどんな注意をするか等です。

一、新しい学校、先生、友だちに一日も早くなれることです。学校の時間表、勉強の方法先生や友だちの名前を覚える事です。

一、一年の計画を早く樹てることです。勉強の時間、どの勉強に力を入れるか。自分の行動、性格のどこを改めどこを伸ばすか、日誌をどうするか等です。

一、交通事故から身を守ることです。新学期は特に犠牲者が多いとのことです。交通規則を守り自分も他人も安全であるよう注意しましょう。

一、その他

きまり正しい生活、持ち物に名前をつける等も大切なことです。

町ぐるみの交通模範を夢みて

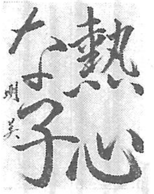
光中校外指導の中軸として(1)生命の安全、(2)非行化防止(3)交通道徳の昂揚、(4)時間的規律を通しての集団づくり、(5)無届遅刻、欠席の防止と五項目の目的を設定して、全職員生徒一丸となり、通学班の充実向上えの途について四年。指導に出て雨の日の軒下に思い、風の日の田圃道で考えることは、いつも「町ぐるみの交通活動」の一事でした。

集団登下校が慣れているにつれて、ともすれば乱れがちになる事も多く、その都度反省検討を重ねながら実践に移るのですが、このような生活訓練は中学時代だけで終ってはならないし、また終らせるべきではないと思っています。中学を卒業したとたんに、二列や道いっぱいの横隊行進の実態によくぶつかるのですが、その度に自責の念にかられ淋しい反省にかりたてられるのです。それとは逆に、朝など生徒の一列行進に交って一列で行進してくださる一般の人を見る時は、心の底からよろこびがこみあげ、思わず「おはよう」と挨拶が飛び出します。向上の一つのテーマにむかってお互いが努力する時、老若男女の区別なく、暖い心の交流が生まれてくるのではなかろうかと思うのです。

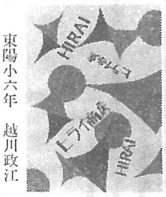
「町ぐるみの交通活動」は警察等で提唱する「一声運動」とあいまって、更にそういう町の環境の中でこそ中学生の実践も、より以上に育って行くのではないでしょうか。

もちろん私達も努力しますがより広く地区の御協力も得て「町ぐるみ」の夢がそう遠くない日の実現を期待いたします。

良い子の作品



東陽小六年　土屋明美



東陽小六年　越川政江

詩　体操の小野喬選手

東陽小六年　山田恵子

小野選手の強い意志、固い決意
日本のためと思うのだろう、
かたのきずにも　負けないで
歯をくいしばって　やりとげた。
つり輪、平行ぼう、
鉄ぼう、あん馬もやりとげた
ゆか運動も　みごとにやった
けれども両足がラインを越えた。
思わず
「あつ」
と声をたてた。
今まで、こらえにこらえていた　いたみに
さすがの小野選手も
せいこんつきて　あきらめたのか。
アナウンサーの声も　祈るような
感謝するような
そんな気持ちが
こもっているように感じた。
小野選手の体はマットの四方を見事に使って
軽いリズムでとんでいる。
終った。
見事にやりのけた。
オリンピックの父クーベルタンのことばを
思い出す。
「勝つことではなくて、参加することである」と
小野選手は　最後まで参加し
競技をすてなかった。

愛の鐘寄贈される
故人の御遺志により

今は亡き町長さんは生前何時も町民のため〳〵と、町民の幸福を念願に町政を執られておられましたが、町葬が済んだ直後御遺族から、町民の皆様に対し今回の変事に当って寄せられた御厚意に対し一々御挨拶も出来兼ねることの意を含めて、故人の御遺志により、この際町に対し愛の鐘を寄贈される申し出がありました。

折角の御厚志なので、町は早速寄附の受け入れを行い、建設計画を樹てて四月中には完成の運びとなる予定であります。

オルゴールつきで時を告げる愛の鐘が青空高く響くのも真近なことでしょう。

町長選挙は五月十八日に決定

去る三月二十六日深田町長死亡に伴う、光町長選挙は四月五日選挙管理委員会において次のとおり決定した。

選挙期日の告示の日　五月十一日
選挙期日　五月十八日

尚これにともない補充選挙人名簿の調整を行いますが今後数度に亘って委員会が開かれ種々審議されますが、今回補充選挙人名簿に登載される方々は五月十八日現在で満二十才に達し引続き三ケ月前から光町に住んで居る者です。詳しい事は今後遂次有線等でお知らせしますが有資格者は一人残らず名簿に登載いたし投票されるようお願いいたします。